

社友会だより

第 1 0

発行 センツウ社友会
住所 東京都港区赤坂 2-4-5
〒107-0052 (国際赤坂ビル 3F)
ドコモ・センツウ株式会社内
編集者 大場省平

* 役員会を開催、総会日程等協議 *

平成 18 年 3 月 3 日、金曜日 午後 6 時から センツウ本社会議室において、役員会（関東在住役員）法安会長、沖本副会長、長谷川事務局長、鱒淵、佐々木、大場の各理事及び清水監事が出席し総会日程等を協議した。会議の様子は次のとおりです。

「報告事項」

事務局長から、会費の徴収状況について説明があり、若干遅れ気味の会員に対しましては、納入通知書の再発行を行った旨、報告があった。

「議題」

(1) 17 年度の総会日程について

① 総会の開催時期について、7 月は暑いので、9～10 月以降開催の要望があったが、開催時期は会則で 7 月と定められていることから、変更には、総会よる決議が必要となる。従って、今年度は、例年どおり 7 月に開催することとし、次年度以降の開催時期については、会員からの意見を収集し、役員会にて検討することとなった。なお、7 月開催を変更する場合は、今総会に諮り決定することとなった。

② 17 年度の総会は、7 月 22 日（土）にて会場等調整することとなった。

（調整の結果、開催日程は、7 月 22 日（土）

12：00 から場所は、例年どおり、東京銀座のラフィナートに決定した。）

(2) 会員から、総会の開催を地域（中央以外）でできないか。との要望について検討した結果。

- ・会員が中央に集中していること。
- ・総会にはできるだけ多くの会員の参加を希望していること。
- ・会社の役員にもご出席いただいていること。
- ・総会事務経費（事務方出張等）が増加し財政上困難であること。

以上から、地域での開催は当面見合わせる事となった。

但し、地域活動を活発かしていただき、総会に地域会員の意見を反映して頂くこととした。

(3) 新規会員の情報については、鱒淵理事に速やかに報告する。

(4) 地域担当副会長のほか、副会長を補佐する事務担当役員（理事）を置いたらどうか。

理事候補については、地域から推薦いただく

こととした。

- (5) 転籍者に対する入会勧奨を早期に実施する。
- (6) 任意退職者に対しても上記に同じく実施する。（退職者の情報については、会社に照会する。）
- (7) 今後の退職者に対する入会案内は、会社の退職関係書類送付に同封願う。なお、入会案内に最近の社友会活動状況「社友会だより」を参考に同封する。
- (8) デジカメ愛好会のご提案について、会として積極的に同好者を勧誘する。

* ボケ防止も兼ねて嵌っています*

竹内敏夫さん

ボケもなく、ノーストレスで笑い転げてポックリ。のっけから不謹慎な話しですが、リタイア後の人生の手仕舞いは、ひたすらやりたいことだけを、やりたい放題にやって、周囲の手を煩わさないうちに早めにコロッと逝ければ往生だなと思っています。

こんな贅沢な理想を夢見て、リタイア後は趣味・趣向の世界にどっぷりと嵌まり込んでいます。

重複を含めて以下 11 のサークルや教室に堰を切ったように入会し、まるで死に急いでいるかのように、せわしなく遊び呆けています。

・スポーツクラブ：筋トレ、エアロビ、水泳等で脂肪を燃焼し、肥満防止に努めています。

・料理：家では一切作らないので「幻の料理人」と言われていますが、いざと言う時に備えて男の料理教室に通っています。

・民謡：お腹から声を張り上げていますので健康にとってもいいです。レッスン後のカラオケで、いつ



も帰宅は翌日です。

・ダンス：若さを保とうと、二つのサークルに入って無駄な抵抗を続けています。

・エレクトーン：ヤマハの美人教師の愛の鞭で、しごかれて

ています。

・囲碁：区内の二つの囲碁サークルでパチパチやっています。右脳が活性化されるので、ボケ防止にはもってこいです。

・麻雀：気の置けない仲間でフロウ（不老）会を結成。レートが高いので木を引き締めてやっていますが、例会後の 9 反省会が高くついています。

・俳句：ささやかながらも、自宅マンションの機関紙仲間で活動中。

・テニス：ゴルフから転向した格好。歳のせいかな捻挫や肉離れ等のケガが多いため、今はやりの手抜き工事スタイルでプレイしています。

いずれの会も旅行やドリンクがついて廻っていて、年齢、職歴もさまざまな人との交流が得られるので何かと味わい深いものがあります。

意外と思われるかも知れませんが、これら10指に余る会の中でも、スポーツクラブでの水泳とエレクトーン演奏には昔から馴染みがあったせいか、特にどっぷりと嵌り込んでいます。

メドレー種目の水泳は日課のようになっていて、泳がない日があると落ち着かない気分になるほど入れ込んでいます。たまたまですが、小生のクリスマスコンサートでのちいさなスナップが音楽雑誌「エレクトーン3月号」に掲載されたので、これを機に「趣味の会」に絞って、近況をご披露させていただきました。

「ボケから逃れて、気分豊かに笑ってポックリ」に賛同の方は参考にしてください。

最後に、露天風呂での駄句を一つ

「筒抜けの女湯の声冬銀河」

＊ 自治会活動を振りかえって ＊

本田太作さん

平成17年元日の朝、我が家の電話のベルが鳴った。自治会員からの電話であった。

「中央講演協の道路の上に破損した自動車が2日前から放置してある。不法投棄であると思われるので早急に処理してほしい」との内容であった。

お屠蘇気分もそこそこに現場に赴き確認、ナンバープレートは取り外してある。警察に通報したところ、既に所有者から届け出があり2～3日のうちに処理するとのことであった。

一時が万事苦情、要望を直ぐ言ってくる。

前期の不法投棄、団地内の駐車違反、犬の糞、蜂の巣の撤去、隣同士の「イザコザ」、挙句の果てには、犬どうしの喧嘩の仲裁まで多岐にわたって何でも言ってくる。結局、行政との対応となるが、自分たちの団地は自分たちで処理するよう指導を受けるが、自治活動では限界（法的手段、強制力が無い）があり、行政に対してとことん突き詰めれば、わが身（自治会）に振りかかってくる。（条例の付則項目があって結局、行政は何もしない）本来、自治会活動は、地域住民の利益と合意を指針として活動する自立した住民組織であり行政とは対等の関係にあるべきであるが、実際は膨大な事務が行政（各部門）から市自治会連合会を通じて下ろされ、自治会が行政の下請け機関になっている。

広報の配布、戸別募金活動（赤い羽根、歳末助け合い運動等）又、各種団体から委員の推薦（選出）以来がくる。例えば、体育推進委員、地区青少年育成委員、交通安全指導委員、消防団員等8団体から一方的且つ強制的に通知してくるので選出に苦慮

する。当団地の住民の多くは近隣からの寄り集まりで、私のような都会からの転入者は少ない。非常に保守的で都市型思考では到底割り切れない。前倒踏襲（慣行）を重んじるので「旧態依然」は直さねばならないと、いろいろな手法を用いて切り込む（改善・改革する）も反発が強い。非難めいた言葉まで飛び出す（「郷に入れば郷に従え」）ほか、理想的な言葉とともに、それに共感するほんの一部の人達から陰湿なかたちでやってくる。（封筒に切手を貼って送りつける・・・勿論、匿名で）感じたことは、直接自分自身の利害関係があれば激しくせに、笛を吹いても踊らず、楽屋で騒いで表舞台に出てこない。若い人の考え方と高齢層との考え方の温度差が大きいと感ずる。充実感と失望感とが交差し広く全体の情勢を見る大切な点を悟る。（達観の境地）ウソのようなホントの話が未だありますが、和やかなお話を一つ記して終わることにしよう。

これは、大阪のお坊さんの語録からの一部を転記したものです。

『お金の欲を捨てなければ、なんぼゼニカネがあっても死んだら持って行けへん。

あの人は、ええ人やったと人から言われるよう生きていうちにバラまいて山ほど徳を積みなはれ。

・・・というのは、それは表向き、ほんまはゼニを離さず死ぬまでしっかり持ってなはれ。人からケチと言われても、お金があるから大事に皆がベンチャラ言うてくれる・・・内緒やけれどほんまでっせ。』

近況ですが、家庭の雑用がその日にやること、1週間でやること、1ヶ月でやることのくりかえしの生活であります。生きがいは、今やっている普通の生活が生きがいを感じているのではないのでしょうか。（皆さんは、同でしょうか）

平成17年度から、自治会活動時行政と係わった

関係から「地区計画建築審議会委員」を委嘱され、年数回の審議に出席しており、勉強させられております。

5年前に取得した旅券は、いま

だに真っ白、今年あたり汚すことになりそうです。

＊ 遺族厚生年金の解説資料（板垣氏記） を無料配布いたします。＊

社会保険労務士、板垣照雄氏から遺族厚生年金の解説資料を頂きました。

本資料は、ページが多いため「社友会だより」に掲載できませんので、ご希望の方に郵送することと致しました。事務局までご連絡下さい。

《社友会に対するご意見をお寄せ下さい。》

次回は8月号となります。

